

令和6年度 第2学年 音楽科 年間指導・評価計画（年間35時間）

| | |
|----|--|
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫をいかした音楽表現するのに必要な、歌唱、器楽創作の技能を身につける。 ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を養う。 |
|----|--|

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

| 月 | 時間 | 題材名 | 題材のねらい 主な学習内容 | 評価の規準(評価方法) |
|------------------|----|---|---|---|
| 4 | 2 | リズムを理解し、構成を考え創作しよう 「リズムアンサンブル」 | リズムを理解し、構成を考え創作活動をし、演奏する。 | ① 自分の作ったリズムを理解したたく技能を身につけている。(実技テスト) ③ 音楽の構造に関心を持ち音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート) |
| | 2 | パートの役割を理解して音楽表現を工夫しよう 「翼を下さい」 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして歌う。 | ① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(定期考査) ② リズム・テクスチャ・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。(ワークシート) |
| 5 ～ 6 ◆ | 2 | 曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう「フーガト短調」 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。 | ② 音色・旋律・形式・構成・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・授業観察・定期考査) |
| | 2 | 日本の歌のよさや、美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう「夏の思い出」 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。 | ① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。(定期考査) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート) |
| | 2 | 曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう「交響曲第五番」 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | ② 音色・リズム・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート・授業観察・定期考査) |
| | 2 | 日本の歌のよさや、美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう「荒城の月」 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。 | ① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。 ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート・定期考査) |
| 7 ～ 10 | 7 | 曲の構成や曲想の変化を生かして歌唱表現を工夫しよう 「合唱コンクールの合唱曲」◇ | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。 | ① 創意工夫をいかした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につけて歌で表現している。(実技テスト) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか思いや意図を持っている。(ワークシート・授業観察・定期考査) ③ 音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察) |
| 10 ～ 12 | 4 | 曲想を感じ取って器楽表現をしよう「Yellow Submarine」 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、演奏する。 | ① 全体の響きや各声部の音などを聞きながら合わせて演奏する技能を身につけている(実技テスト) |

| | | | | |
|------------------|---|---|--|---|
| ◆ | 3 | 音階や、言葉の抑揚を生かして創作表現をしよう「My Melody」 | 音階や、言葉などの特徴、音のつながり方の特徴について理解し、それらを生かしたまとまりのある音楽を作る。 | ①音のつながり方の特徴について理解している。簡単なリズムの読譜、創作、記譜ができる。民謡音階について理解している。(ワークシート) |
| | 2 | 曲想と歌詞の内容を理解して歌唱表現を工夫しよう「サンタルチア」 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容と曲の背景との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。 | ① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。(定期考査) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート) |
| | 2 | オペラに親しみその魅力を味わおう「アイーダ」 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう、 | ② 音色・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート・定期考査) |
| 1 ~ 3 ◆ | 3 | 歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう 鑑賞「勸進帳」長唄「勸進帳」 | 音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽を味わって聴く。長唄の特徴をとらえ、曲趣に応じた発声で歌う。 | ② 音色・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート・定期考査) |
| | 2 | 日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴、世界の諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう 鑑賞「郷土の祭りや芸能」「世界の諸民俗の音楽」★☆☆ | 人々の暮らしの中から生まれた日本の郷土芸能、伝統音楽を聴き、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。 世界の音楽を聴き、音楽表現の共通性や、固有性について自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。 | ① 諸外国の様々な音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 ② 曲想と音楽の関わり、特徴とその背景となる文化や歴史、我が国の伝統音楽、アジアの諸民族の音楽の特徴と多様性に関心を持ち、音楽活動に取り組んでいる。(ワークシート) |

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

| 観点 | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------------------|---|---|--|
| 観 点 の 趣 旨 | ・曲想と音楽を形作っている要素との関わりを理解している。 ・歌唱・器楽・創作表現をするために必要な技能を身につけている。 | ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表現するか思いや意図を持っている。また、曲や演奏に対する評価とその根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | ・曲想と音楽を形作る要素との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 |
| 評 価 の 方 法 | ・実技テスト ・ワークシート ・定期考査 | ・ワークシート ・実技テスト ・定期考査 | ・授業観察 ・提出物 ・定期考査 |

学習のアドバイス

- (1)授業態度 いつでも積極的に取り組みましょう。忘れ物がないようにしましょう。
- (2)提出物 指定された期限に必ず出しましょう。丁寧に記入しましょう。
- (3)ふりかえり 定期テストの前には必ず復習をしましょう。音楽の表現に関する言葉、記号、その意味についてはしっかり覚えましょう。